

授業科目名	感染症看護論 (2300235)		
時間割名	感染症看護論 (51210)		
時間割担当	大野典子		
実施期	前期	単位数	1 選択
曜日・時限	金・1~3		

授業の目標・概要

感染は病原微生物と宿主の生態防衛力の相互作用によって成立する。既習の微生物学や免疫学を統合し、感染の機序を理解する。感染に関する看護の役割は感染予防から、感染症の看護であり、病院や施設のみでなく、在宅を含む地域にもおよび、多岐にわたる。感染予防や感染症看護を微生物や滅菌・消毒の知識と関連づけ、科学的な根拠（エビデンス）をもって実践できる知識と技術を学ぶ。また、日和見感染や院内感染についても教授する。

学習の到達目標

感染を未然に防ぐ知識と技術は、地域・在宅から高度専門医療機関まであらゆる看護の領域において重要な課題である。病院感染や施設内感染の防御に必要なスタンダードプリコーション、感染予防技術の原則について理解する

授業方法・形式

講義を中心にグループワークを実施しながら授業を行う。

授業計画

- 第 1回 感染症の検査・診断・治療の流れについて学ぶ・
- 第 2回 抗菌薬の種類、依存作用について学ぶ
- 第 3回 感染症の主な疾患、感染者の感染経路、症状、治療について学ぶ
- 第 4回 感染症の主な疾患、感染者の感染経路、症状、治療について学ぶ
- 第 5回 感染症患者の看護 事例を基にアセスメント、予防策を学ぶ
- 第 6回 感染症対策の歴史 スタンダードプリコーションを学ぶ
- 第 7回 手指衛生 個人防護具 マスクの効果
- 第 8回 看護ケアのポイント まとめ

成績評価の基準

授業参加、態度、グループワークを含め40%、
1,000文字以下でレポート課題を出すので、レポート60%で評価する。

準備学習・復習及び授業時間外の課題

履修上のアドバイス及び留意点

教材・教科書

参考書

参考図書、文献は適宜紹介する